

高雄日本人学校の風

校長 高口 和治

7月9日（火）

中正小学校の見学会を開催しました。45の家庭からの参加でした。引越時の様子は想像がしにくかったと思います。給食のことや空調、トイレ、安全面など多岐にわたる質問がでました。11日に全家庭にご意見を書くことができる用紙を配布しました。意見がおりの方は、封筒に入れ担任にお出しください。

中正の校長先生は、「交流です」を強調していました。日本人学校が入る準備のために、日本語ができる先生を新たに雇い入れてくれています。

7月10日（水）

日本語の指導を中学部では、「読解力」の育成に特化して力をつけようとしています。「読解力」は、国際的に見て、日本の学力が相対的に下がってきた象徴として言われています。日本の学習指導要領が改訂されて効果が出てきています。でも、これは、平均の話で、個々で見ればもっと伸ばせます。また、私の子どもたちの日常レベルの話では、日本人として当たり前背景を前提に話をしていると、とんちんかんな答えが返ってくることもあり、点数だけでは計れない日本語力の問題もあります。

中学部では、最初に世界的学力テストで使用した学力問題を使って、本人の力を計りました。この結果を基に、レベルに合わせて3グレードに編成しなおして指導を始めています。習熟が弱い生徒でも、クリアすれば上のグレードに上がるようにしています。今は、一ヶ月に一度中学部全員で、教員6人共に取り組んでいます。

グレードは、

A言葉の知識（量や意味、いわゆる語彙力などの知識を高めること）を増やす

B言葉を構成・構築する力の育成

C言葉をTPOに合わせて使う力の育成

Cの段階に取り組んでいる人たちは、すでに世界的な試験での15歳の水準をかなり上回っている段階にあります。

1時間をじっくり見た感想としては、1年間でかなり力がつくであろうと思いました。

7月11日（木）

着衣水泳がありました。これは、服をきたまま何かのひょうしに水に落ちたときに慌てないで済むよう、そして命を守るという訓練です。現実にはほとんどないとは思われますが、それこそ万が一を想定しています。プールでの様子を見てみると、服を着ていた場合には、服と身体の間には空気の層ができます。その空気の層をうまく使って子どもたちは何分も浮かんでいました。ペットボトルでも訓練をしていました。

毎年私は話をするようにしていますが、平成7年に私が勤務していた学校で水難事故があり、中学3年生がなくなりました。この時、ペットボトルを水泳パンツのひもにくくりつけた状態で岸に打ち上げられていました。消防の話によると、首にペットボトルを巻き付けることができれば、生きていたかもしれない、とのことでした。

7月12日（金）

午後、三信家商高の日本語の先生から誘われ、5年以上の子どもと保護者で点心づくりをしてることになっています。漢字検定があり、また、中学部は土曜日に実力テストも予定されていて参加人数はそう多くありませんでした。私もそして保護者もいれて12名で参加してきます。卵が入ったパイ生地のお菓子だそうです。

台風情報を得るために職員室ではずっとテレビを付けっぱなしにしています。

日本留学展が開催されます。

日本の独立法人日本学生支援機構が主催して7月20日（土）11:00～17:00 夢時代8階時代会館で日本留学展が開催されます。昨年も一昨年も紹介しました。こちらで高校を過ごすとか、台湾は長いけど、入試に優遇はあるのかとか、大学や専門学校入試に関しての情報が必要な方は、行ってみてください。どのような大学がブースを出しているかを知りたい場合、中学部は学級掲示してあるのでご覧ください。小学部は、私にお尋ねください。

プール開放（明日は、別紙の対応のように開放をやめました）

21日10:00～14:00

8月25日（日）9月1日（日）7日（土）8日（日）10:00～14:00